

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツC	単位数	3単位	学年・学科・コース	2年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>(陸上競技) 各種目特有の技能を身につけ、仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解する。</p> <p>(武道) 相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて技能を発揮するとともに攻防を理解する。</p>	<p>(陸上競技) (武道) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができるよう、運動実践につながる態度を養う。</p>	<p>(陸上競技) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする態度を養う。</p> <p>(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすることを養う。</p>

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法	
			a	b	c			
4	(陸上競技) ・スプリントドリル ・SAQ トレーニング ・トレーニング理論 (武道) ・武道としての礼法、作法 ・ランニングトレーニング ・技の研究	<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) 採点競技への多様な関わり方を理解する。 (武道) 武道への多様な関わり方を理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) (武道) 他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで表現できる。 (陸上競技) (武道) 発見した動きの改善点や効果的な改善策について、活動場で判断して仲間に伝えることができる。 (陸上競技) (武道) 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性に寄与する学習に意欲的に取り組むことができる。 	授業態度	
5								
6				○				
7								○
8	(陸上競技) ・レジスタンストレーニング ・軽快走 ・ウエイトトレーニング (武道) ・技の練習 ・ウエイトトレーニング ・得意技の開発	<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) (武道) 自己や仲間の課題を発見し判断する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) (武道) 体力や技能の程度、性別や目的の違いを超えてスポーツを楽しむために調整することができる。 (陸上競技) (武道) 映像や記録など客観的なデータから効果的な改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことの根拠を示し伝えることができる。 (陸上競技) (武道) 自他の状況及び環境の変化に応じた目的や活動の仕方に意欲的に取り組むことができる。 		
9								
10				○				
11								○
12	(陸上競技) ・持久走 ・ウエイトトレーニング (武道) ・技の練習 ・攻防の技術 ・ウエイトトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) (武道) 公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めることができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> (陸上競技) (武道) 発表会や競技会などの目的に応じた企画。 (陸上競技) (武道) 練習会や競技会を行う場面で自己や仲間の活動を振り返りよりよいルールやマナーについて提案することができる。 (陸上競技) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び練習の仕方やルールの修正などを大切にすることができる。 (武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、禁止事項などの試合のルールを遵守しようとするすることができる。 		
1					○			
2								○
3					○			